

# 飼料用米を活用した複合経営

(滋賀県：有限会社 宝牧場)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○		○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：滋賀県高島市
- ・代表者：代表取締役社長 田原 哲也
- ・飼養頭数：総頭数2,039頭（乳用牛319頭、肥育牛1420頭、繁殖雌牛200頭、豚100頭）
- ・雇用者数：20名（R4.2時点）
- ・HP等：<https://cowcowfarm.com/>



玄米粉砕機

### <取組について>

#### ○ 概要

- ・平成23年から地元の耕種農家が契約栽培した飼料用米を豚に対し飼料として利用（豚の飼料には飼料用米以外にも、飲用として流通できずに廃棄していた、乳用牛の初乳を給与して「みるく豚」としてブランド化）。
- ・肉用牛にも飼料用米を給与するため、平成29年度に飼料用米倉庫を整備。飼料用米倉庫には玄米粉砕機を設置しており、地元のJAで集荷された飼料用米を中心に年間約1,000トンの飼料用米を活用。
- ・強制発酵処理施設で完熟堆肥（分析済）を生産、耕種農家ほ場に供給。

#### ○ 今後の展望

- ・令和3年末にロータリー式搾乳施設を整備し、生乳出荷量の拡大を目指す。
- ・ふるさと納税の返礼品等により他府県の顧客が増加傾向にあり、引き続き、自社ブランド商品の開発に取り組む。

